

国際協力海外レポート

池田 枝里（いけだ えり）【JICA 青年海外協力隊】

赴任地：パナマ共和国 エレラ県チトレ市

職種：小学校教育

赴任期間：2014年9月～2016年9月（予定）



○パナマの気候 “亜熱帯気候” で嬉しいこと♪

パナマは赤道に近いため、高温多湿の亜熱帯気候で1～4月が乾季にあたり、その他が雨季です。今は雨季ですが、日本の梅雨みたいにじとじと降り続くのではなく、だいたい決まった時間に集中して降ります。亜熱帯気候なので1年中暑いのは大変ですが嬉しいこともあります。それは “フルーツパラダイス” であることです。時期によって旬の果物が違うので市場に行くのが楽しみです♪特に最近まで旬だったマンゴーは1本の木から200～300個もできるそうで、市場でも安く買えますが、私はもらったり拾ったりして、50個ぐらいいは食べたかな?!そして今の旬はマモンチーノというライチのような果物です。他にも年中食べられるパイナップルは1個1ドル前後なので、週1回ぐらいいのペースで買っています!!



いろんな種類のあるマンゴー



マモンチーノ



1ドルのパイナップル!!

小さいのはおまけ♪

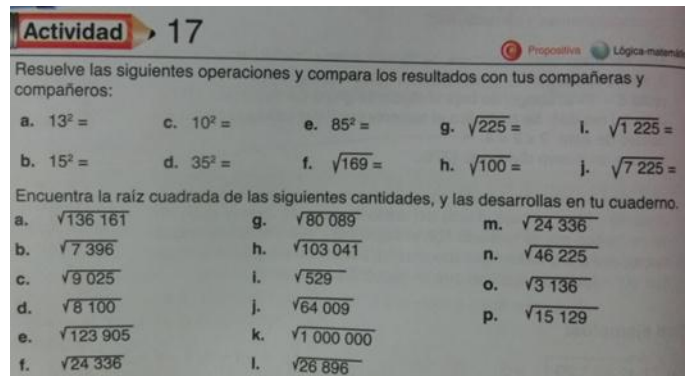
○郵便&インターネット事情

パナマには郵便ポストがないので、日本へ手紙・ポストカード等送りたい時は郵便局へ行きます。ポストカードだと1枚0.45で送れるので日本国内(0.8)より安いのですが、日本に届くのに3週間ほどかかります。また日本から送ってもらう場合は、一般家庭には住所がないので所属先の住所と電話番号を書いてもらいます。郵便局に着くと電話がかかってくるので自分で取りに行く方式になっています。

インターネットは図書館・学校・公園などの公共機関に無料で使えるwifiが設置されており、簡単な登録だけで使うことができるのでとても便利です。

○算数の教科書を見てびっくり!!

パナマで使われている算数の教科書を見て驚いたことは、内容がとても難しく数字の桁が大きいことです。例えば日本では中学校で習う平方根ですが、パナマでは4年生で学習します。また4~6年生で分けて習う分数の四則計算を3年生で一通り学習します。



○パナマの小学校

パナマの小学校は3月に始まり1学期は5月末まで、1週間の休みの後2学期は9月の中旬まで、また1週間の休みの後3学期は12月の中旬で修了します。次の新学期が始まるまでの2か月半が長期休暇です。

パナマ人はフェスティバルが好きなので、学校行事もとてもユニークで、リサイクルの日や民族衣装を着て学校に来る日、それぞれの学年が各県の食べ物や民族衣装を紹介する日などがありました。



ボカデルトロ県の民族衣



民族衣装で学校に来る日



おかしの袋でドレス

○折り紙を使って授業!

学校にもスペイン語にも少し慣れてきたので、現地の先生に助けをもらいながら、2年生に折り紙を使って分数の二分の一、四分の一作りをしました。子どもたちは初めての折り紙に興味津々でとても楽しそうに活動をしていました。また、3年生では折り紙を使って正方形、長方形、三角形を学習し、最後に犬を作りました。日本の文化と算数を結ぶ良い機会になったと思います。こちらは教師指導型の授業が多いので、児童が主役の授業を現地の先生方と作っていただけたらいいなと考えています。

